

令和6年度 評価計画及び自己評価

(計画)・中間・最終)

東畑中学校区 校番 16 学校名 呉市立明立小学校

a 学校教育目標	賢く 優しく 逞しく 進取 礼節 求学 ☆チャレンジする子 ☆礼儀正しく、 がまん強い子 ☆進んで学ぶ子	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉(学校の使命) ・知・徳・体の基礎基本が徹底され、自分・学校・郷土を誇りに思える児童の育成 〈ビジョン〉(将来の学校像) ・確かな学力・豊かな心・健やかな体を育み、明立小に来て良かったと誰もが思う学校								
c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	学校教育目標を「かしこく やさしく たくましく」と位置付け、知徳体バランスのとれた児童生徒の育成を目指していく。東畑中学校の校訓である「進取・礼節・求学」を中学校区の校訓として、具体的な取組に落とし込み、小中が一貫して指導できるようにしていく。本年度も、基本的な学習習慣や学習規律の徹底を図ること、生徒指導・特別支援教育を視点にした個に対応した分かる授業・楽しい授業・考える授業の創造及びポジティブ行動支援や適切な居場所作りを推進することを通して、資質・能力の向上を図っていく。										
育成を目指す資質・能力	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・感謝・貢献								
評価計画(中期経営目標を設定してから 1・②・3 年目)				自己評価							
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	10月			2月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
**	学力の向上を図る。	①基礎的・基本的な学力を定着させる。	・学力調査の課題から指導の重点を定め、帯タイム(スキル・チャレンジ・学力重点)を年間計画に沿って実施し、漢字・計算の習得を図る。 ・読書の時間の徹底。(朝・給食前後) ・個の課題に応じて、個別指導を行う。 ・標準学力テストを学年当初に教師が実施する。(これをもとに明立小計算テストを作成する) ・キュビナなどタブレットを活用する。	・国語単元テスト(知識・技能)平均80点以上児童80% ・漢字のまとめテスト80点以上を100%にする。(再テスト可) ・算数単元テスト(知識・技能)平均80点以上児童80% ・明立小計算テストで80点以上の児童を100%にする。(別パターン再テスト可) ・標準学力調査全国平均を100と見たときの全校平均の割合 ・「タブレットを活用するのは勉強に役立つ」肯定評価95%	80% 100% 95%						
		②思考力・判断力・表現力をつける。	・授業プログラムを提示するなど、個を大切に「考える授業づくり」を実践する。 ・授業で、自分の考えとその理由をまとめ表現する場を設定する。(なぜを問う発問をするとともに、教師が、児童の発言に対して必ず理由を問う。理由をどこから導き出すか指導する。)	・「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝わるように発表を工夫している。」肯定的評価の割合 ・授業で理由を問う発問をしている教師の割合	80% 95%						
		③学習規律の徹底を図る。	・着ベル・立腰・黙想・挨拶を定着させる。 ・姿勢を正し、相手を見ているのを確認してから話し始めさせる。 ・中学校区で設定してる宿題を出し、やり切らせる。(個に応じた宿題設定も可)	・「体に向け話し手を見て聴いている」肯定的評価の割合 ・家庭学習強化週間の達成率	80% 80%						
**	自尊感情・自己有用感を高める。	④規範意識を高める。	・実態に応じて「礼を正し・時を守り・場を清める」ことを指導する。(自治的活動を図りながら) ・日常的な振り返りの場を設定する。(明立っ子カードの活用により自己指導力の向上を図る)	・「学校の決まりを守っている」肯定的評価の割合	90%						
		⑤自信をつける。	・学校行事、異学年行事、学年行事ごとに、振り返り認め合い感謝の手紙を書く時間を取る。(キャリアノートへ集録) ・帰りの会に「良いこと見つけ」を設定する。(評価シール等) ・日常的、意図的に教師が褒める。(評価シール等) ・構成的グループエンカウンターを取り入れる。(「X氏への手紙」など)	・「自分には良いところがある」肯定的評価の割合 ・「自分の良さは周りから認められている」肯定的評価の割合 ・「住んでいる地域(明立小学校区)が好きである」肯定的評価の割合	85% 75% 90%						
		⑥規則正しい生活習慣を定着させる。	・生活振り返りカードに取り組む。 ・学級指導や保護者啓発を図る。連続3日未達成の家庭に、協力依頼連絡をする。 ・児童保健委員会の活動を行う。	・生活振り返りカードの「メディアに関する約束が守れた」児童の割合	80%						
*	基本的な生活習慣の定着と体力の向上を図る。	⑦運動の習慣化を図り、体力を高める。	・サーキットトレーニングの定着と体育科授業での運動量の確保及び外遊びの推奨を行う。 ・呉チャレンジマッチや体育朝会と有機的に関連付けることで運動の日常化を図る。 ・記録計測タイムを設定しチャレンジさせる。	・呉チャレンジマッチで入賞する学級の割合	70%						
		⑧安全への意識を高める。	・手引きを活用した授業や避難訓練等により防災に係る継続的な指導と振り返りを行う。 ・本校仕様の防災教材を活用する。	・「災害時に避難する場所や避難の仕方が分かる」肯定的評価の割合	100%						
		⑨長時間勤務を削減する。	組織：会議・行事の精選・縮小・効率化、効率的な職場環境の整備、業務分担の推進、繁忙期の短縮時程を図り、時間を確保する。 個人：整理・整頓、タイムマネジメント意識の構築を図り、時間を確保する。	・児童と向き合う時間を確保しようとする教員の割合 ・勤務時間外の在任時間45時間以内の割合(年平均)	80% 65%						

【評価】

A: 100 ≤ (目標達成) B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
C: 60 ≤ (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60